

床暖房対応・準対応フローリングの注意事項

(施工前に必ずお読みください)

下記の製品を床暖房に使用される場合は、以下を必ずご確認ください。

【対応製品】対応品番：

【床暖房対応・準対応フローリング】 yukadan1580-3SS、yukada1580-3S、yukadan1580-3A、yukadan1280-1SS、yukadan1280-1S、yukadan1280-1A

【圧縮フローリング (全体圧縮)】 FL831、FL832、FL851、FL852、FL931、FL951

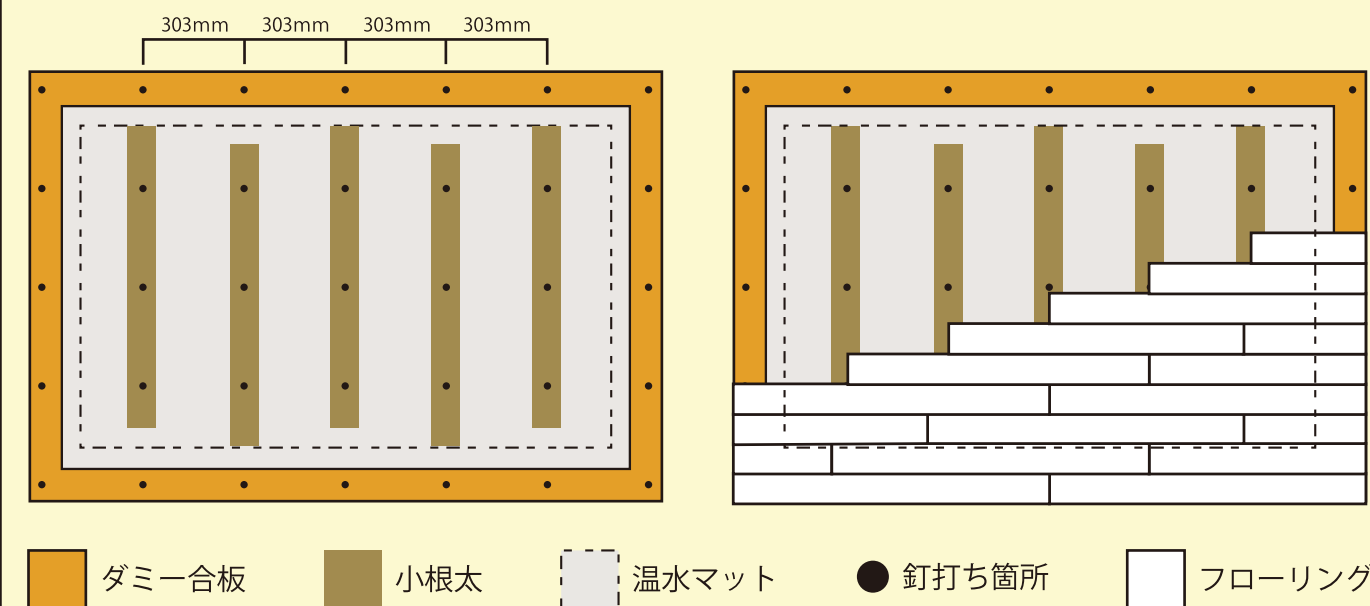
【圧密フローリング (表層圧密)】 AFS13535-03、AFS13535-21、AFS13535-23、AFS13535-05、AFS13550-05、AFS131050-05、AFS13535-25、AFS13550-25、AFS131050-25

1. 施工前に確認 (下地調整)

- 窓ガラスが入ってから施工してください。
- 床下に湿気がたまらないよう、換気口を設けてください。
- 土台は 90mm 角以上の KD (含水率 18% 以下) 材* でプレナーがけしたものをお使いください。
*床根太や温水マット、下地・ダミー合板が十分乾燥していることを確認してから施工してください。梅雨時期や雨の日など湿度の高い時には、特に注意してください。濡れている状態での施工は禁止です。
- 結露防止のため、床根太の下側に防湿シートを貼り込むことをおすすめします。
- 根太は 45mm 角以上の材を使用し、303 ピッチで仕上げてください。
- 下地合板は 12mm 厚以上、1 類耐水性合板 T1 を千鳥に施工し、釘などの突起がないように平滑に仕上げてください。
根太に合板を貼る場合にも、有機溶剤の含まれていないコニシ根太ボンド KU928C-X をおすすめします。
- 温水マットの周囲に、同厚の 12mm のダミー合板 (レベル調整材) 1 類耐水性合板 T1 を敷き込み、温水マット設置前には掃除機などで十分清掃してください。
- どの方向にフローリングを施工するか確認し、下地合板の上へ温水マットを設置してください。
12mm のダミー合板より約 10mm 以上離し、温水マットの小根太とフローリングの板目が直交するようにしてください。

※施工による床鳴り予防のため、床下地部分には必ず乾燥材を使用してください。
下地合板・根太は、たわまないようにきっちりと固定し、釘も浮きが出ないように強く打ち込んでください。
※施工時、上記手順にしたがって下地調整を行い、大きな隙間、施工による床鳴り等の発生を予防して、正しく施工してください。

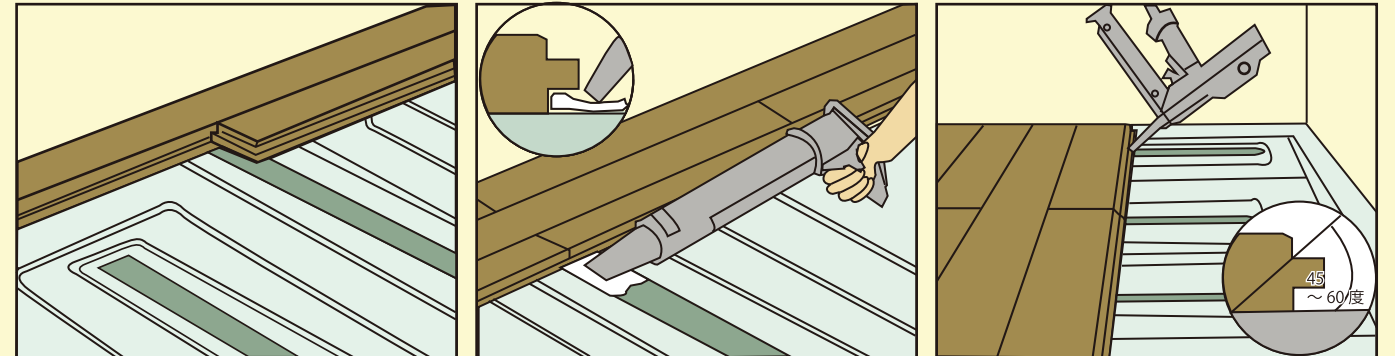
《温水マット・フローリング配置図》 ■尺飛びまたは千鳥に施工してください。



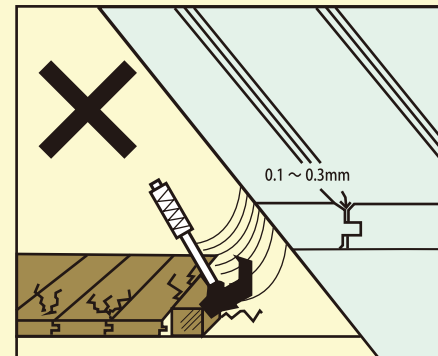
※フローリングの板目と温水マットの小根太は直交するようにしてください。

2. 施工方法

- 手順 1** フローリングの長手接合部が、小根太の中央に来るようにしてください。
- 手順 2** 温水マットの小根太全面へ指定接着剤を塗布します。
- 手順 3** 市販のステーブル (接着剤付き) を小根太に打ち付けて固定してください。 ※注 1



- 手順 4** サネは強く叩き過ぎ、打ち込み過ぎないように注意してください。 ※注 2

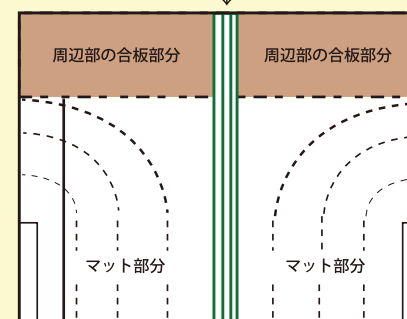


※注 1 : ステーブルは、幅 9 ~ 11mm、長さ 38 ~ 45mm のものをご使用ください。打ち込み角度は 45 ~ 60 度とし、折れ曲がりのないようご注意ください。

※注 2 : 木材は収縮するため、打ち込み過ぎると割れやサネの外れの原因となります。気候・湿度に応じて、0.1 ~ 0.3mm の隙間を空けて貼ってください。

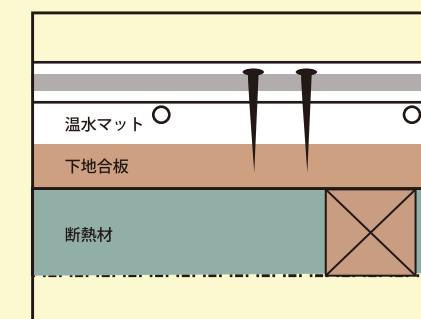
※推奨接着剤は、コニシ KU928C-X です。
※推奨ステーブルは、MAX 938T フロア・944T フロア、カネマツ 1138K フロア、1145K フロア です。
※打ち付けの際は、根太部分にはステーブル釘を、両サイド (エンドマッチ部分) にはフィニッシュ釘をご使用ください。

接着剤を塗布する位置

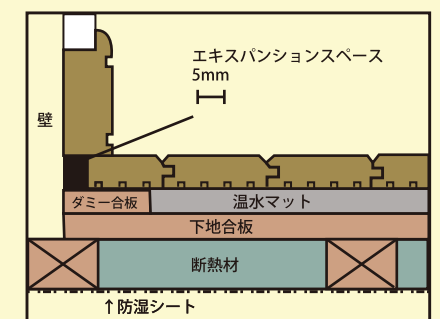


小根太 温水マット

ステーブルの打ち込み位置



エキスパンションスペース



壁の周りは巾木で隠れる程度 (5mm くらい) のエキスパンションスペースを開けてください。

注意事項

- ※打ち付けの際は、根太部分にはステーブル釘を、両サイド (エンドマッチ部分) にはフィニッシュ釘をご使用ください。両サイドにステーブル釘を使用すると、割れる恐れがあります。
- ※小根太・ダミー合板部以外には絶対に釘を打たないでください。
- ※施工時に強く叩き過ぎるとサネ割れる可能性がありますので注意してください。
- ※天然無垢一枚板を使用しているため、施工時の室内環境が影響する場合があります。室内が乾燥している時期の施工では、サネをきつく締め過ぎないように配慮が必要です。
- ※フローリングを壁の際などで切断して納める場合には、切断した木口に同封した蜜蝋ワックスを塗りつけてから施工してください。大きな隙間の発生を防ぐのに効果があります。(左記は、桧の床暖房対応フローリングの自然塗装品に限ります)
- ※施工後はすぐに養生シートをしてください。養生シートには防湿性の高いものを使用してください。また、施工後の作業時に傷をつけないよう、ベニヤ板等を併用して、しっかりと養生してください。